

〔科目名〕 経営戦略論Ⅱ	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目(選択必修)
〔担当者〕 上田 弘 UEDA Hiromu	〔オフィス・アワー〕 時間: 初回の授業時に提示します 場所: 604研究室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 本授業は、経営学における中心的な分野の一つであり、経営学を理解するうえで重要な科目である。ここでは、経営戦略論の基本的な理論や概念を理解するとともに、具体的な企業の取組みとの関連について検討することを通じて、企業の戦略的行動を理解する能力を養うこととする。 経営戦略は、経営活動の中長期的な基本枠組みと企業の方向性を決定し、企業の競争優位性の獲得を目指すもので、企業の存続や生き残るための考え方である。 経営戦略を実際に立案し、実行する観点から見た場合、経営戦略はビジョンの策定、自社の事業領域(ドメイン)の選択といった全社を対象とする全社戦略(企業戦略)と各事業でいかに競合他社に対して競争優位性を構築する競争戦略(事業戦略)を中心に学ぶこととする。従って、経営戦略論Ⅰで深掘りした経営戦略の全体像、経営環境の変化に対応したマーケティング戦略等の機能別戦略をここでは割愛する。 本授業の進め方として、ビジネス現場における経営戦略とは何か、実際の企業実務事例にも触れながら、社会人になっても実務で活用できる経営戦略論の基礎的な知識及び手法の習得を目指すこととする。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 経営学は身近な学問と言われているが、経営学の内容には、経営戦略、経営組織、機能別戦略としてマーケティング、生産管理、人事労務管理、財務管理などの様々な事業戦略の活動がある。本科目の履修上の注意として、経営戦略論Ⅰの競争戦略、企業の中心的な位置づけとされているマーケティング戦略等も併せて履修することが望ましい。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 経営戦略論Ⅱの授業では、主要な経営戦略論に関する基礎的な理論と概念を身につけ、経営戦略とはどのようなものか、企業は経営戦略をどのように策定し、実行しているかなどについて、現実の経営戦略を分析し、説明できるようになることを到達目標とする。企業経営における重要な経営戦略に対する興味と理解を深め、『企業の未来設計図』の作り方と実際の企業経営の現場で活用されている知識及び手法を付与したいと思う。 本授業を通じて、将来の就職活動、インターンシップの場面のほか、社会人になっても実務で役立つマネジメントの要点を学び、理解することを目標とする。なお、本授業では学習効果等を勘案し、4回の連続授業を実施する。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 この科目を担当するにあたって、私がこれまで企業及び役所等において実質経営者、管理者として勤務した実務経験から得た知見、多くの大企業、ベンチャー企業、中小企業をフィールドワーク及び海外調査で訪ねた企業事例などを通じて、企業現場や経営実務において経営戦略を立案する際に必要な知識と有効な実践的スキルなども付与したい。 本授業を通じて、履修者からの要望、改善・工夫に関して意見やアンケートを参考にして、授業へ極力取り込む工夫も積極的に行っていきたい。		
〔教科書〕 大滝精一、金井一頼、山田英夫、岩田智著『経営戦略』有斐閣アルマ (※(経営戦略論Ⅰと同じ教材を使用する))		
〔指定図書〕 網倉久永、新宅純二郎著『経営戦略入門』日本経済新聞社出版 嶋口充輝、内田和成、黒岩健一郎著『1からの戦略論 第2版』中央経済社 笠原英一『改訂版 強い会社が実行している経営戦略の教科書』KADOKAWA		
〔参考書〕 株式会社日本総合研究所著『経営戦略の基本』日本実業出版社 日沖健著『経営戦略がわかるセオリー&フレームワーク』産業能率大学出版部 Harvard Business Review『戦略の教科書』ダイヤモンド社 坂本雅明著『事業戦略実践ガイドブック』同分館出版 守屋淳著『オリエン特東西の戦略史と現代経営論』日本経済新聞社出版部 田中道昭著『経営戦略4.0図鑑』 鈴木博毅著『3000年の叡智を学べる戦略図鑑』かんき出版 森泰一郎著『アフターコロナの経営戦略』翔永社 クリス・ブラッドリーほか著『マッキンゼー ホッケースティック戦略』東洋経済新報社		

<p>〔前提科目〕 なし</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 評価の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 春学期開始後、中間時に「課題レポートの提出」を課し、提出されたレポートは最大 50 点評価とする。 2. 学期末に「定期試験」を行い、最大 50 点評価とする(試験では教科書、レジュメ、講義ノートのみ持ち込み可。)。 上記2つの要素で最終評価に反映させる。 	
<p>〔評価の基準及びスケール〕 ◎評価の基準</p> <p>授業で得た知識を基に、現代の企業で実際に行われている経営戦略の考え方、経営戦略の意義、全社戦略、競争戦略とこれらを企業現場で具体化する機能別戦略(マーケティング戦略、財務戦略、人事戦略等)に関する考察力や理解力で評価する。</p> <p>A:80 点以上 B:80 点未満 70 点以上 C:70 点未満 60 点以上 D:60 点未満 50 点以上 F:50 点未満</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講を希望する者は、必ず 1 回目の授業に出席して欲しい。 ・授業は、出来るだけ分かりやすい授業を行い、一方的に話すだけではなく、教科書及びレジュメの輪読、学生の意見を求め、ディスカッションを行うこともある。そのため受講する学生は授業への参加意欲を持って出席して欲しい。 ・PCや iPad、スマホは、ノートをとる必要及び事例企業などを検索する場合に限り、その使用を認める。 	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>経済産業省(旧通産省)、国の独立行政法人、中小企業等での実務経験を活かし、企業経営及びベンチャー企業経営等に必要とされる包括的な知識を身に着けるため、実際の企業事例にも触れながら、企業経営に寄与する基礎的な知識の習得と企業実務への理解を目指すこととする。</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
<p>第1回 4/7</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営戦略の概要と系譜 内 容: インTRODakション、戦略の考え方の背景、戦略は軍事から生まれ現代へ、現代は経営戦略が問われる時代、経営戦略の起源、経営戦略論の誕生 等 教科書と配布資料</p>
<p>第2回 4/14</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営戦略の全体像 内 容: 企業活動と経営戦略、経営理念と経営戦略、経営戦略を考える、経営戦略の構成要素、等 教科書と配布資料</p>
<p>第3回 4/21</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 全社戦略1(成長戦略) 内 容: 全社戦略(ミッション、経営ビジョン、ドメイン等)、戦略計画の立案、経営環境の分析(SWOT分析、3C分析)、経営管理 等 教科書と配布資料</p>
<p>第4回 4/28</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 全社戦略2(成長戦略) 内 容: 企業成長の方向性、成長戦略(アンゾフの製品ー市場マトリクス)、多角化、多角化のタイプ 等 教科書と配布資料</p>
<p>第5回 4/28</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 全社戦略3(成長戦略) 内 容: PPM(経営資源の配分) 等 教科書と配布資料</p>
<p>第6回 5/12</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 競争戦略(事業戦略) 内 容: ポーターの競争戦略論、業界構造の分析(5フォースモデル、3つの基本戦略)、コラーの競争地位別の戦略、参入障壁、その他の経営戦略論 等 教科書と配布資料</p>

第7回 5/12	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営資源戦略 内 容: 経営資源、VRIO 分析、バリューチェーン(価値連鎖)、サプライチェーン(SMC) 等</p> <p>教科書と配布資料</p>
第8回 5/26	<p>テーマ(何を学ぶか): ランチェスター戦略 内 容: 強者の戦略と弱者の戦略、企業事例 等</p> <p>教科書と配布資料</p>
第9回 6/2	<p>テーマ(何を学ぶか): 戦略の実行 内 容: 7つのS、組織、社内システム、人材、スキル、経営スタイル・価値観、戦略のコントロール 等</p> <p>教科書と配布資料</p>
第10回 6/16	<p>テーマ(何を学ぶか): 技術経営 内 容: 研究開発、コア技術戦略、製品開発のプロセス、イノベーション、技術戦略 等</p> <p>教科書と配布資料</p>
第11回 6/16	<p>テーマ(何を学ぶか): 新規事業創造の戦略 内 容:アントレプレナー、ベンチャー企業、起業からの発展段階、起業の経営戦略（ファーストステージ、初期伸張期等）、ターンラウンド期の企業再生戦略、成功への架け橋 等</p> <p>教科書と配布資料</p>
第12回 6/30	<p>テーマ(何を学ぶか): 外部組織との連繋 内 容: 企業間連携、M&A、産学連携、産業クラスター、事業構造の再構築 等</p> <p>教科書と配布資料</p>
第13回 7/7	<p>テーマ(何を学ぶか): 企業の社会的責任とSDGs 内 容: CSRの概念と国際機関の取り組み、CSR の水準と企業の社会貢献、企業倫理の制度化と実践、環境経営、SDGs 等</p> <p>教科書と配布資料</p>
第14回 7/7	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営のグローバリゼーション 内 容: 経営の国際化とグローバリゼーション、多国籍企業の経営スタイル、日本企業の経営スタイル、異文化経営 等</p> <p>教科書と配布資料</p>
第15回 7/21	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営戦略論のまとめ 内 容:</p> <p>教科書と配布資料</p>
試験	筆記試験の実施